

英語

解答

中3
H26.6

【1】	1	excited	2	lay	3	saying
	4	give	5	hearing		

【2】	1	visited			
	2	has	been	for	
	3	Nothing	more		
	4	secret			
	5	never	done		

【3】	問1	(1) A	イ	B	ウ	(5) A	エ	B	オ		
	問2	(2)	must	(5)	what		to				
	問3	(1)	given	(2)	died	問4	ア				
	問5	(1)	those	(2)	worse	問6	イ				
	問7		Henry	問8	ears						
	問9	(1)	エ	(2)	キ	(3)	ア	(4)	ウ	(5)	カ
	問9	(6)	コ	(7)	イ	(8)	ケ	(9)	オ	(10)	ク

問1	Have	you	ever	heard					
問2	彼らがどこから来たのか、どこへ行くとしているのかわからない。 靴は脱げないように彼女の足に縫い付けられており、その靴は滑りやすかつたので、彼女は雪の中を滑って転びまくった。								
問3	ウ								
問4	女のイエティーは人間 ¹ の男に出会うと、背中 ² の袋 ³ に男を入 ⁴ れて、山に ⁵ 連れ去 ⁶ る。								
問5	エ	問6	ア	問7	イ	問8	as	as	possible
問9	イ	問10	あ	caught	い	pair			

【5】	問1	最初の2語	whether	its				
	問2	最後の2語	lying	quietly				
	問3	エ	ア					
	問4	(1)	doing	(2)	using	(3)	called	
	問5	enemies	問6	(1)	イ	(2)	ウ	(3)

※ 上記の解答以外の答えにも点を与える場合がある。

<配点>

【1】	各2点×5=10点
【2】	各2点×5=10点
【3】 問1~問8 問9	各3点×10=30点 各1点×10=10点 (小計40点)
【4】 問1, 問2(2) 問2(9) 問3~問9 問10	各2点×2=4点 4点 各2点×7=14点 各1点×2=2点 (小計24点)
【5】	各2点×8=16点 (問1, 問4完答) 合計100点

<領域と出題>

	領域名	設問	配点
01	適語選択問題	【1】	10点
02	連立完成問題	【2】	10点
03	長文読解問題1	【3】	40点
04	長文読解問題2	【4】	24点
05	長文読解問題3	【5】	16点
	合計		100点

<解説>

【1】 適語選択(語形変化)問題
1. 「私が一番好きな選手がゴールを決めるのを見て私は興奮した」となるようにexcitedを入れる。「(人が)興奮する」は「(人が)興奮させられる」と考え、受け身なので過去分詞 excited で表す。これに対して「(物事が)興奮させる」は現在分詞 exciting で表す。
(例) The game was exciting to me.
感情を表す他の動詞 interest 「～に興味を抱かせる」, surprise 「～を驚かす」, disappoint 「～を失望させる」なども同様

に考える。

2. 「その犬は床に横になって眠り始めた」となるように、lie の過去形 lay を入れる。lie は自動詞で「横になる」の意。一方、lay は他動詞(目的語をとる動詞)で「～を横にする、～を置く」の意。
(例) You mustn't lay your bag on the table.
「テーブルの上にかばんを置いてはいけない」
この両者は意味も活用形も紛らわしいが、入試頻出語なので確実に覚えておくことが大事である。
lie - lay - lain - lying
lay - laid - laid - laying
3. 「フランクはさよならを言わずに部屋から出て行った」となるように、saying を入れる。
without は前置詞なので、この後の動詞は動名詞(～ing形)にする。
4. 「もしいつも疲れを感じるようならば、休息の時間を自分に与える(=休息の時間を取る)必要があります」となるように、give を入れる。< give + 人 + 物 > で「<人>に<物>を与える」となる(第4文型)。have to の後なので原形のままでよい。
5. 「まだご連絡を頂ければ幸いです」となるように、hearing を入れる。hear from ～で「～から連絡をもらう」。また、< look forward to + 名詞・動名詞 > で「～(すること)を楽しみにする」。この to の後に動詞がくるときは、原形ではなく動名詞にする点に注意する(この to は前置詞と考える)。これ以外に、to の後に動詞の原形ではなく動名詞がくる表現として、be used to 「～することに慣れている」、What

do you say to ~? 「～するのはどうですか?」(勸誘表現)などを覚えておくとよい。

[2] 連立完成問題

1. 「京都は外国人観光客に人気がある」とは「京都は多くの外国人観光客によって訪問される」ということ。<主語+be動詞+過去分詞+by ~>という受動態の形で Kyoto is (visited) by ~とする。

2. 上の文は「スーザンは3ヵ月前に日本に来て、今もまだ日本にいる」という意味。このように、「過去のある時から現在までの状態の継続」は現在完了(have[has]+過去分詞)で表すことができる。したがって、Susan (has) (been) in Japan (for) three months. 「スーザンは3ヵ月の間ずっと日本にいる」とする。このとき、過去分詞は come ではなく been を用いることに注意。一般に go, come, become のような「1回限りの動作」を表す動詞は現在完了の継続用法では使えない。

3. 上の文は「健康は私にとって最も重要なものだ」という意味。下の文では than があることから比較級を用いた文にするが、最上級の文と同じ内容を、比較級を用いて表すとき、<No (other)+単数名詞+動詞+比較級+than ~>という形を使うことができる。本問では No (other) thing を1語で Nothing と表し、(Nothing) is (more) important than good health for me. 「私にとって健康より重要なものはない」とする。

4. 上の文は「この情報はほんのわずかの人にしか知られていない」の意。be known to ~ 「～に知られている」は前置詞に to を使う点に注意。これを下の文では「この情報は最高機密だ」となるように、「機密、

秘密」の意の secret を入れる。

5. 上の文は「その仕事は私には初めてだ」の意。be new to ~で「～にとって初めての」となる。下の文は、現在完了の経験用法で I have (never) (done) the work before. 「私は以前その仕事をしたことがない」とする。never は「1度も～ない」の意。

[3] 長文読解問題1(物語文)

[全訳]

「あれは、まだショーウィンドウにあるかしら? それとももう誰かが買ってしまっただかしら?」老婦人は速く歩きたかったが、そうすることができなかった。「もう年なので速く歩けないわ」と彼女は心の中で思った。「長く生き過ぎたかもしれない」

そうして彼女はショーウィンドウまでやって来た。「ああ、よかった。まだあったわ」それは彼女が覚えていたとおりのものだった。自分の持っていたものと同じマークがついていた。「私の指輪に間違いない!」と彼女は思った。

それは母が死んだときにもらったものだった。彼女はそれを2年間持っていた。そうして彼女はピリーという名の青年と恋に落ちた。今でも彼のことを覚えている。あの大きな耳! 人は彼のその耳のことでよく笑ったものだ。

戦争が始まるとピリーは戦地に送られた。戦地に赴く前、彼女は彼にあの金の指輪をあげた。「いつまでも持っているよ」と彼は言った。「そして僕が帰ってきたら、結婚しよう」

戦後、彼女は待ち続けた。しかし、ピリーは彼女のところに帰って来なかった。彼女は一度も結婚しなかった。弟のヘンリーと一緒にずっと家にいた。2人はまだそこで暮らしていた。

「ヘンリーに相談してみよう」と彼女は思った。「彼に何か考えがあるわ」

その晩、彼女は弟に指輪のことを話した。ヘンリーはしばらく考えてから言った。「するべきことがただ1つあるよ、メアリー。明日の午後、その店にもう一度行って、店主に会うんだ。そして指輪を見せてくれるように頼むといい。そうすれば、わかるよ、メアリー」「それがいいわね」と彼女は言った。

翌日の午後、彼女はその店にもう一度行き、言われたとおりのことをした。それは同じものでなかった! マークがずっと大きく、金はそれほど上質のものではなかったのだ。

その晩、彼女はヘンリーと家で一緒に過ごし、自分のことを笑い、再び陽気になった。

しかし、ヘンリーはその朝の店主との会話を思い出し、憂鬱になった。店主はウィンドウの中の指輪を取り替えながら、こう言ったのだった。「ええ。その方が先週の土曜日にこれを持ってきました。みすばらしいお年寄りで耳の大きな方でした」

問1 語句整序問題

(1) < too ~ to ... > 「…するには～すぎる」の構文にする。too の後には形容詞か副詞、to の後には動詞の原形がくるようにする。

正解: I'm [too(イ) old to walk(ウ) quickly], 「私は速く歩くには年を取りすぎている」

(6) < ask ~ to ... > 「～に…してくれるように頼む」の形にし、この後は < show +人+物 > 「<人>にく<物>を見せる」の順にする(第4文型)。

正解: And ask [him to(エ) show you(オ) the ring]. 「そして彼にその指輪をあなたに見せてくれるように頼みなさい」

問2 書きかえ問題

(2) I'm sure ~ は「～ということを確信する、きっと～だ」と、強い推量を表すので、助動詞 must 「～に違いない」を使って書きかえる。

正解: It (must) be my ring!

「それは私の指輪に違いない!」

(5) 弟に相談を持ちかけた姉が「彼に何か考えがあるだろう」と言っているが、これは「彼ならどうすればよいかわかるだろう」という意味である。「どうすればよいか(=何をすればよいか)」は<疑問詞+不定詞>で what to do と表す。

正解: He'll know (what) (to) do.

「彼はどうすればよいかわかるだろう」

問3 英文完成問題

「形見分け」とは、誰かが死んだ後にその人の遺品を親族の間で分けることを言う。したがって、「その指輪は母親が死んだときに、彼女に与えられたものだった」となるようにする。(①)は受動態になるように過去分詞 given を入れ、(②)は「死ぬ」の意の動詞 die を過去形 died にして入れる。

正解: The ring was (① given) to her when her mother (② died).

問4 心情把握問題

質問文は「彼女が彼に金の指輪をあげたのはなぜか?」である。戦地に赴く恋人に物品を贈るときの女性の心情を考えれば、「なぜなら、彼女は彼がそれを見たときに自分のことを思い出してほしいと思ったから」とするのが妥当。< want ~ to ... > 「～に…してほしい」したがって、A remember を入れる。

問5 書きかえ問題

下線部(7)の文 The marks were much bigger and the gold wasn't so good. 「マークがずっと

大きく、金はそれほど上質のものではなかった」は、比較する対象(=「彼女が持っていた指輪」)が省かれているので、書きかえ文ではそれを明示する。まず、(①)は the marks を表す代名詞 those を入れる。この those(単数のときは that)は、前の the + 名詞 > の代わりをし、後ろに前置詞や関係代名詞が置かれる。

(例) The population of Tokyo is larger than that of Osaka. (that = the population)

「東京の人口は大阪の人口より多い」

次に(②)は「(質が)悪い」の意の bad を比較級にした worse を入れる。bad は bad-worse-worst と不規則に変化する。

問6 心情把握問題

メアリーは、店頭で展示されていた指輪は自分がピリーにあげたものではないかと疑っていた。それが事実だとすると、ピリーはその指輪を売った、つまり、メアリーを裏切ったことになり、それがメアリーを憂鬱な気分させていたのである。しかし、店頭の指輪が別のものであることが判明した今、メアリーは思い過ごしをしていた自分の愚かしさを笑い、再び陽気になった、と考えられる。したがって、このときのメアリーの心情としては、イ「ピリーが私の指輪を売ったと考えるなんて、私はなんて愚かだったんでしょう」とするのが適切。

他の選択肢の意味ア。「ピリーが生きているのがわかってとてもうれしい」ウ。「あの指輪は私のものだ。私には真相がわかっている」エ。「私に指輪を見せてくれた店主に感謝しなくてはならない」

問7 文脈把握問題

質問の意味は「店主にショーウィンドウの指輪を変えるように頼んだのは誰か？」である。ヘンリーはメアリーに、午後店に行

き、店主から指輪を見せてもらうように働んでいるが、自分ではその日の午前中に店へ行き、店主に会っているのである。このことから、ヘンリーは、指輪を売りに来たのはピリーであると推測し、これをメアリーに知られまいとして店主に指輪の交換を申し入れた、とみなすことができる。したがって、正解は Henry である。

問8 文脈把握問題

ヘンリーの取った行動と店主の言葉から、この店に指輪を持ち込んだのはピリーであることがわかる。ピリーの身体的特徴は、第3段落で「大きな耳」と述べられているので、ears を入れればよい。手前にある前置詞 with は「～を持った」の意。

(例) That woman with black hair is my aunt. 「あの黒髪の女性は私のおばだ」

問9 要約文完成問題

[要約文の全文]

老婦人は指輪をもう一度見るためにショーウィンドウに急がなければならなかった。しかし、彼女は年老いていたため、遠く歩くことができなかった。やっとなら彼女がそこに着いた。彼女は再びショーウィンドウの中の指輪を見たとき、こう思った。「あれがなぜここにあるのでしょうか。ピリーが持っていたはずなのに。私が彼にあげたものよ。私たちは愛し合い、彼は結婚すると私に約束してくれたのだったわ」

戦後、ピリーは決して戻って来なかった。そうして彼女はこれまでずっと独身でいた。

その夜、彼女はその問題について弟のヘンリーに相談した。彼はしばらく考え、それから彼女に言った。「店主にその指輪を見せてもらえるかどうか頼むのが良いだろう。たぶん見せてくれるよ」午後、彼女は店に行った。その結果、それは彼女が持っていたものとは

異なることがわかった。彼女はほっとした。

夜、ヘンリーはメアリーからその話を聞いた。彼は黙って聞いていたが、心の中でこう思った。「午前中、私は店主にあの指輪を交換するように頼んだ。メアリーが真実を知れば悲しむことを私は恐れたのだ」

① < hurry to + 場所 > 「～へ急ぐ」となるようにエを選ぶ。

② have a look at ～で「～を見る」。ここでは「～をもう一度見る」となるように、have another look at ～とする。正解はキ。

③ at last 「やっとなら、ついに」となるようにアを選ぶ。

④ belong to ～ 「～のものである、～に属する」となるようにウを選ぶ。

⑤ each other 「お互いに」となるようにカを選ぶ。

⑥ < stay + 形容詞 > で「～のままでいる」。「独身の」の意のコ single を入れる。

⑦ < had better + 動詞の原形 > 「～した方がよい」となるようにイを選ぶ。

⑧ as a result 「その結果」となるようにケを選ぶ。

⑨ be different from ～ 「～と異なる」となるようにオを選ぶ。

⑩ < make + O + C > 「O を C にする」となるようにクを選ぶ。

[4] 長文読解問題2(エッセイ)

[全訳]

私たちはヒマラヤ山脈周辺を旅していた。そうして、ある野営地にたどり着いた。皆が火の周りに草座になり、肉を焼いていた。

「イエティーについて聞いたことがあるかい？」と私たちのガイドが突然言った。

「ええ、ありますよ」と私は言った。

「じゃあ、明日はイエティーのテリトリー

に入ると言っておこう。この地域にはたくさんいるんだ」と彼は説明した。「恐ろしい生き物だ。半分は人間で半分は獣なんだ。背が高く、腕力がある。足が逆向きになっているので、どちらの方角から来たか、どちらの方角に行こうとしているのかわからないし、15キロ離れた所から人間のおいを嗅ぎ分けることができると言われている」

「イエティーに遭遇するとどうなるんですか？」と私は尋ねた。

「それは場合による。男のイエティーが人間の男に出会うと殺す。しかし、人間の女に出会うと、背中の袋に女を入れて、山に連れ去るんだ。女のイエティーが人間の男に出会うと同じことをする」

「あなたはこれまでにイエティーを見たことがあるんですか？」

「私はない。でも、祖父は見たことがある。私は祖父からある話を聞かされた。聞きたいかい？」

「はい、ぜひ」

彼は咳払いをした。

「私の祖父の村——私は子どものときここで暮らしていたんだが——その近くの丘に女のイエティーが住んでいた。ある日、祖父と友人が薪を集めるために一緒に森に入り、そこでこのイエティーに出くわした。祖父は逃げたが、友人は捕まってしまった。丸1年、彼は彼女の洞穴の中で囚われの身となり、生肉だけを与えられた。しかし、彼は賢い男だったので、ある日良い考えが浮かんだ。イエティーに殺された動物の皮で自分用の靴を作り始めたんだ。イエティーはその美しい靴を見ると、とてもうらやましがったので、男は彼女にも作ってあげた。翌日、彼はイエティーが眠るまで待ち、ついに一か八かやってみた…そうして全速力で山を駆け下りた。イエ

ティーは目を覚まし、彼を追いかけたが、靴は脱げないように足に縫い付けられていたんだ。そして、その靴は滑りやすかったので、彼女は雪の中を滑って、転びまくったらしい。このようにして男は逃亡することができたんだ。彼が村に戻ると、皆が仰天した。彼は死んだものと皆から思われていたからね。しかし、彼は現れた——生きてままで

問1 英文完成問題

「～したことがありますか」は現在完了の経験用法で表す。「これまでに」は副詞 ever を用いる。「聞く」は、news や story など直接耳に入るものは hear ～ で表すが、本問のように、直接耳に入らないものについては hear of ～ 「～のことを聞く」で表す。

正解文：(Have) (you) (ever) (heard) of the yeti?

問2 英和訳問題

(2) 英文：you cannot tell where they have come from or where they are going to cannot tell は「わからない、言えない」。where they have come from は「彼らがどこから来たのか」、where they are going to は「彼らがどこへ行くか」としているのか。

正解例：彼らがどこから来たのか、どこへ行くかとしているのかわからない。

(9) 英文：the shoes were sewn on her feet so that she could not take them off, and they were so slippery that she kept on sliding and falling in the snow

so that she could not ... はく so that ... can ... > 「～が…できるように」と「目的」を表す副詞節の形。したがって、so that she could not take them off は「靴が脱げないように」と訳す(take off ～ 「～を脱ぐ」 ⇔ put on ～ 「～を身につける」)。次

に so slippery that ... はく so ~ that ... > 「(とても)～なので…だ」の構文であり、「その靴は(とても)滑りやすかったので…」とし、she kept on sliding and falling in the snow は、keep on ~ing が「～し続ける」なので「雪の中を滑って転び続けた[滑って転びまくった]」と訳す。

正解例：靴は脱げないように彼女の足に縫い付けられており、その靴は滑りやすかったので、彼女は雪の中を滑って転びまくった。

問3 適文選択問題

イエティーは人間を見つけるとどうするか、という筆者の問いに対し、ガイドは〔3〕の後で、男のイエティーが人間の男に出会うと殺すが、人間の女に出会うと山に連れ去る、と答えており、イエティーの人間への対処は男女によって異なることを示している。したがって〔3〕に入れるべき文としては、ウ「それは場合による」が適当である。It [That] depends. は後ろに on the circumstances が省略された言い方(depend on ～ 「次第である」、circumstance 「状況」)で、「それは場合による、ケースバイケースだ」の意。単に Depends. とも言う。

他の選択肢の意味：ア「大丈夫、いいとも」、イ「結構だ、承知した」、エ「ええと、どれどれ」

問4 文脈把握問題

下線部(4)は「女のイエティーは人間の男に関して同じことをする」の意。直前の「男のイエティーが人間の女に出会うと、背中の袋に女を入れて、山に連れ去る」を参考にし、「女」を「男」に変えてまとめる。

正解例：(女のイエティーは)人間の男に出会うと、背中の袋に男を入れて、山に連れ去る。

問5 文整序問題

まず、「あなたはこれまでにイエティーを見たことがあるんですか?」という問いに対する答えとしては、3「私自身はない」から始めるのがよい。次にこれを受けて、1「でも、祖父は見たことがある」とする。has の後には seen one が省略されている。また、〔5〕の後に Yes, please. とあることから、直前には、相手の意向を聞く、4「それを聞きたいかい?」が入るとわかる。4における it は2の a story を指すと判断できるので、2→4の順が確定する。以上から、正解はエ(3→1→2→4)である。

問6 英文解釈問題

clear one's throat は「咳払いする」という意味(clear 「きれいにする」、throat 「のど」)。これは、話を始める前や人の注意を引くための仕草。実際、この後でガイドの長い話が始まるのである。したがって、アを入れ、「彼は話しやすくするために1回咳をした」とする。この it は to speak を指す形式目的語。

他の選択肢の意味：イ「話すのを終えるために」、ウ「風邪を引いていたので」、エ「怖くて話せなかったので」

問7 英文解釈・文脈把握問題

envious は難しい単語であるが、直前の「イエティーはその美しい靴を見た」と、直後の「男は彼女にもそれを作ってあげた」から、「～をうらやましがって」という意味だと推測し、she was very envious of them を「彼女はそれをとてもうらやましがった」という意味にとる。したがって、この内容を表す文としては、イ「彼女はその男と同じ物を強く欲しがった」が適切。

他の選択肢の意味：ア「彼女はそれに全く関心を持たなかった」、ウ「彼女はそれを男からのプレゼントと間違えた」、エ「彼女は、

それは男には美しすぎると考えた」

問8 英文完成問題

「できるだけ～」はく as ~ as possible > (またはく as ~ as + 主語 + can >) で表す。

正解：(as) fast (as) (possible)

問9 内容真偽問題

ア「筆者はかつてイエティーを見たことがある」…× 聞いたことがあるとは言っているが、見たことがあるとは言っていない。イ「そのガイドによればイエティーの嗅覚はすぐれている」…○ 第4段落最後の文「15キロ離れた所から人間のにおいを嗅ぎ分けることができる」に一致する。

ウ「ガイドの祖父の友人は食べ物なしでイエティーの洞穴に閉じ込められていた」…× 「生肉を与えられていた」という記述がある。

エ「村の皆は、男が無事生きていると考えていた」…× 村人は男が死んだものと思っていたので、生還したと喜仰天したのである。

問10 適語補充問題

(あ) イエティーに出くわした2人のうち1人は逃げた、という記述の後に but とあるのだから、もう1人は捕まったことがわかる。「捕まえる」の意の catch を、受動態になるように過去分詞 caught にして入れ、「彼の友人は彼女に捕まえられた」とする。

(い) shoes「靴」、glasses「メガネ」、socks「靴下」、trousers「ズボン」など、<対になっているもの>はく a pair of + 複数形 > で表すことができる。正解は pair。

【5】長文読解問題3(説明文)

【全訳】

動物はみな休息しなければならない。しかし、彼らは眠るのだろうか？もし眠るのなら、私たちは動物が眠っているということをどのようにして知るのだろうか？

私たちは動物を観察し、目が開いているのか閉じているのか、活動しているのか静かに横たわっているのかがわかる。これらは重要な手がかりではあるが、十分ではない。例えば馬や牛は目を閉じることがあまりないし、魚や蛇は目を閉じることができない。しかし、このことは彼らが眠らないことを意味するものではない。猫はしばしば片目を開けて眠る。人間ですら、片目または両目を開けたまま眠っている姿をときどき目にする。

動物は眠るためにいつも横になるわけではない。例えば象は、しばしば立ったまま^{awake}木を木の叉にもたせかけて眠る。

動物の行動を観察するだけでは、動物たちが眠っているのかどうかという疑問に答えることはできない。その答えは脳波計(略称 EEG)と呼ばれる機械を使って実験を行うことによって得られるのである。EEGによって、科学者たちはすべての鳥類と哺乳類は眠ることがわかった。またヘビ、カメは本当に眠るわけではないが、毎日、休息時間を取ることがわかった。

また、科学者たちは、チンパンジーとネコはよく眠るが、ヒツジとヤギはあまり眠らないということもわかった。面白いことに、よく眠る動物たちのほとんどは捕食者であり、眠らない動物たちのほとんどは他の動物に捕食される動物である。彼らは休んでいるときでも常に敵に対して警戒していなければならないのである。

問1 指示語指摘問題

直前に「私たちは動物を観察し、目が開いているのか閉じているのか、活動しているのか静かに横たわっているのかがわかる」とある。したがって「これらは重要な手がかりではあるが、十分ではない」の「これら」とは「目が開いているのか閉じているのか、活動しているのか静かに横たわっているのか」を指すことがわかり、該当部分は whether its eyes are open or closed, and whether it is active or lying quietly となる。

問2 文脈把握問題

この段落の冒頭で、目が開いているのか閉じているのかは、睡眠中であるか否かを判断するための十分条件にはならない、とあり、目を閉じない動物が存在することを述べている。したがって、この後にくる文としては、エ「このこと(=目を閉じないこと)は彼らが眠らないことを意味するものではない」がふさわしい。そしてこの後、エの内容を裏付けるものとして、目を開けながら眠る動物の例を挙げているのである。

問3 英訳解釈問題

下線部(3)は「象は、しばしば立ったまま牙を木の叉にもたせかけて眠る」の意。この状況を正しく表している絵はアである。rest「もたせかける」、fork「又」(食器の fork は又状になっている)は難しい単語だが、文脈から推測してほしい。また、< with + A + B >は「AをBにしたままで」という意味になり、これは「付帯状況の表現」と呼ばれ、入試頻出事項である。Aには名詞、Bには形容詞 / ~ing / 過去分詞などがくる。

(例) Don't speak with your mouth full of food.

「口を食べ物でいっぱいにしたまま話してはいけない」

She sang with tears running down her cheeks. 「彼女はほほに涙を伝わせながら歌った」

第2段落最後の2つの文における with ... open(この open は形容詞)も付帯状況の表現である。

問4 適語選択・語形変化問題

① experiments を目的語にとる動詞は do がふさわしく、前置詞 from の目的語なので、動名詞 doing にして入れる。

② a machine を目的語にとる動詞は use。前置詞 by の目的語なので、動名詞 using にする。

③ a machine に対し、「～と呼ばれる」という受け身の意味で後ろから修飾するように called を入れる(過去分詞の形容詞的用法)。

問5 文脈把握問題

下線部(5)が含まれる文の most of 以下は「眠らない動物たちのほとんどは他の動物に捕食される動物である」という意味。この「他の動物」と同じ意味を表す語は、hunters「捕食者」ともう1つは、次の文「彼らは休んでいるときでも常に敵に対して警戒していなければならない」の「敵」。正解は enemies「敵」である。

問6 内容一致問題

(1) 「動物は眠っている間、いつも目を閉じるわけではない(イ)」第2段落の内容に一致させる。not always は「いつも～するわけではない」の意。このように all, every, always など「すべて」の意味を持つ語が not と共に使われると「すべて[いつも]～だとは限らない」という意味になり、これは、部分的に否定するので、「部分否定」と呼ばれる。

(類例) Not everyone agreed with this.

「皆がこれに賛成したわけではない」

(2) 「動物が眠っているかどうかを知るためには、彼らの行動を観察するだけでは十分でない(ウ)」第4段落第1文(alone は「ただ～だけ」の意)に一致させる。

(3) 「ヒツジとヤギは他の動物を警戒しなければならないので、深い眠りに落ちることはない(エ)」最後の段落の内容に一致させる。